

農業とICTに関する取り組み

2012年11月30日

富士通株式会社

ソーシャルクラウド事業開発室

サービス開発統括部 シニアディレクター

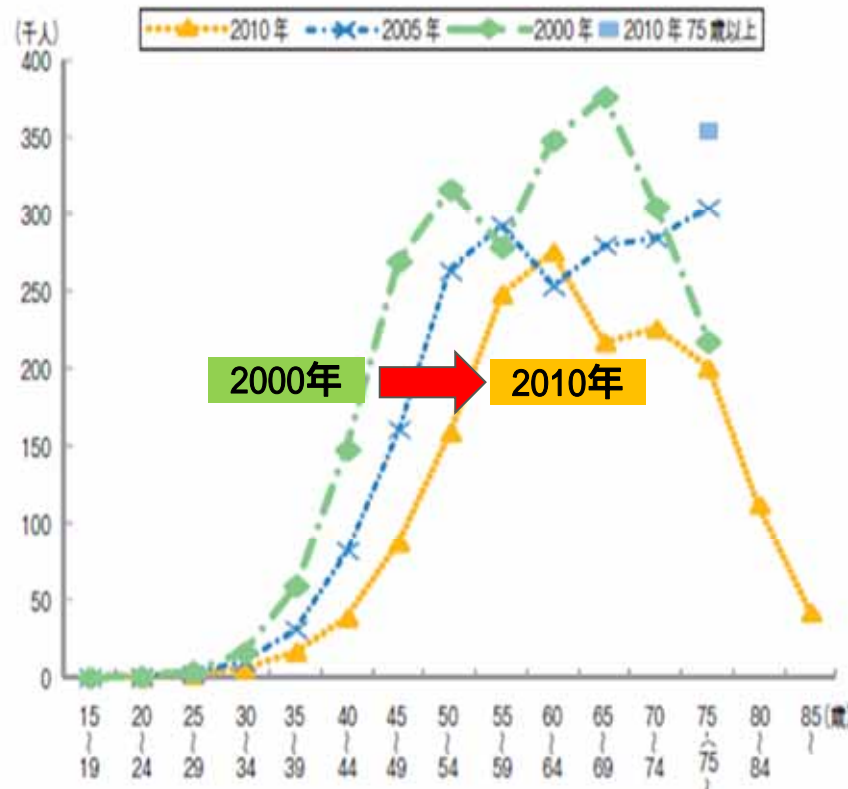
山崎 富弘

取り組みの背景

農業の抱える課題

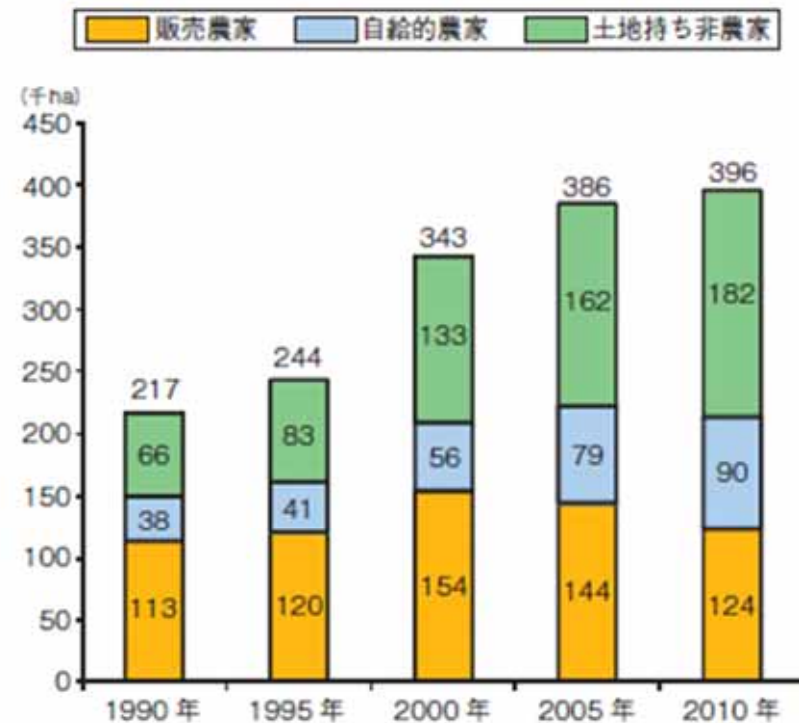
■ 日本の農業の実態・・・高齡化、耕作放棄地増加

図 5-1 年齢別の農業経営者数



65歳以上が61%、**平均65.9歳**
順調に右シフト

図 1-5 耕作放棄地面積の推移(全国)



耕地面積456万haの約1割
埼玉県と同じ面積

■ JA様向けシステムビジネス 1970年～

■ 生産者に着目 2009年8月～

- 新福青果(宮崎県:露地野菜)
- フクハラファーム(滋賀県:稲作)
- 早和果樹園(和歌山県:みかん)

■ ICTで農業をどう支援するか:実証実験

- 企業的農業のための経営支援ツール
- 三つの見える化とアドバイス
 - ・ 経営の見える化
 - ・ 生産の見える化
 - ・ 顧客の見える化

■ Akisai 農業生産管理SaaS サービス開始 2012年10月

- クラウドサービス
- コンサル型サービス:イノベーション支援サービス

現状の課題

- 従来の農業は、生産者の**経験やノウハウ**を中心に営農
- このため、**無駄やリスク**が発生することもある(利益を喰う一因)
- 次世代にノウハウが継承出来ず**経営継続が出来ない**事態も発生

環境の変化

農地法改正('09/12):農地の流動化が進む
高齢化 → 耕作放棄地増加・匠減少

今後は、**企業的経営**が必要

- 経営の安定化:圃場の管理、コストの把握、人・物・金の管理
- 人の管理:家族以外の人を雇用
- 事業継続性:技能の伝承、個人の成長

生産の見える化

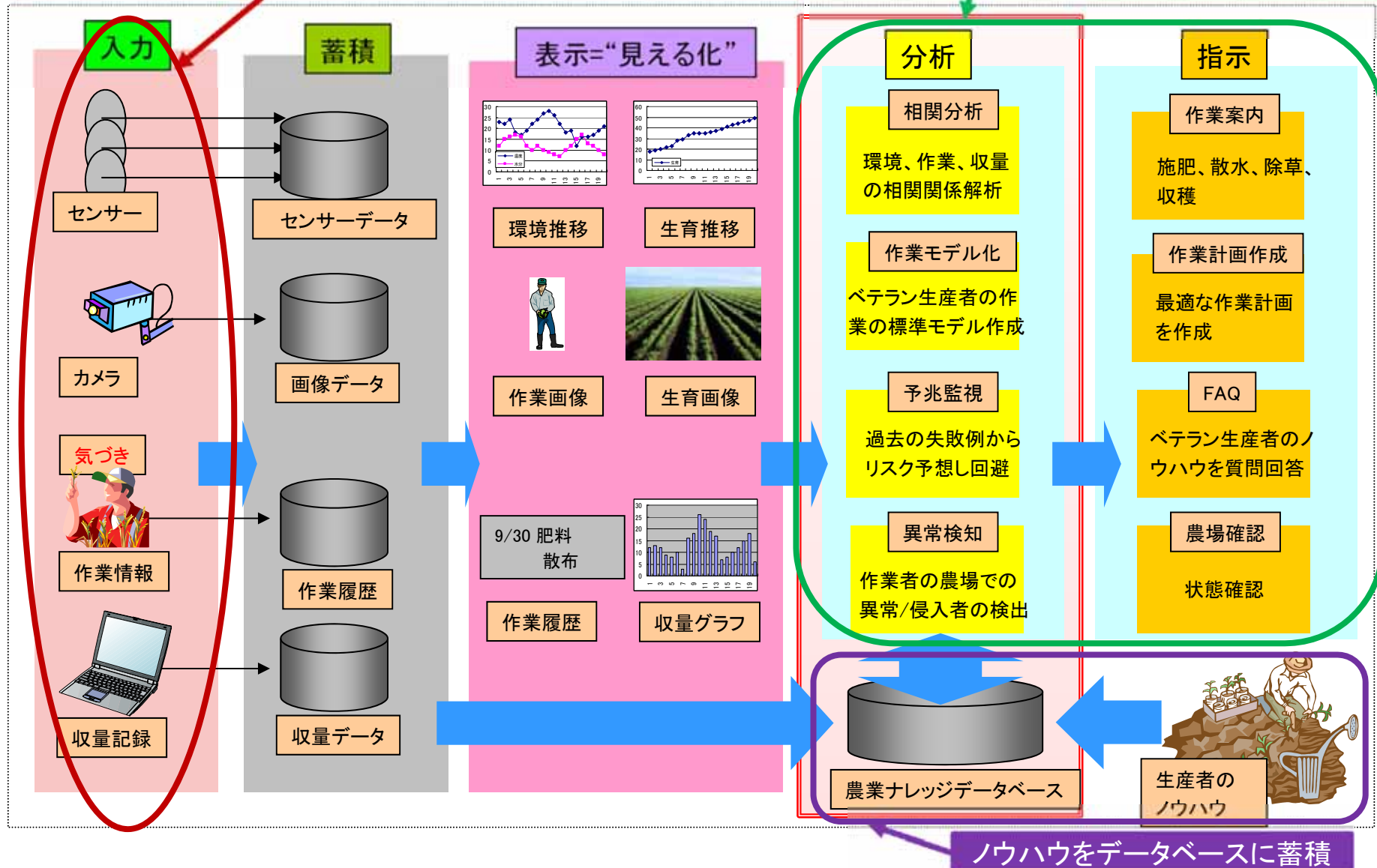
経営の見える化

顧客の見える化

農業情報の活用：見える化とアドバイス

農地の状態や作業状況を各種センサー・カメラ等でセンシング

膨大なデータを分析し、最適な営農情報を提供



農業実践

